



もろびりに熱中する

身近なライバル

太田匠さん・賢さん(17歳・埼玉)

高校生が工業技術・技能を競う「高校生ものづくりコンテスト全国大会」。「ものづくり甲子園」と呼ばれているこの大会の埼玉県予選が6月にもものづくり大学で開催され、県立進修館高等学校3年の太田匠さん・賢さんの双子の兄弟が出場しました。そして、兄の匠さんが最優秀賞である県知事賞に輝きました。

二人が出場したのは「旋盤作業部門」。旋盤とは、材料を回転させて、固定したバイトと呼ばれる工具で切削や切断などの加工を行う工作機械のことです。大会では、この機械を操作して製作課題に基づく部品3点を作り、「出来栄え」「寸法精度」「作業時間」などを競い合います。「1000分の1ミリ単位のズレも許されない競技に出場できるということは、この兄弟は非常に高度な技術を持っています」と指導に当たった横森先生は二人を高く評価しています。



2年生のときに、匠さんは学校の代表として

初めてこの大会に出場しました。しかし、7位という結果に終わり、今大会はリベンジに燃えていたそうです。一方、賢さんも「高校生活で培ってきた技術を大会で発揮してみたい」と出場に意欲を見せていました。そして、二人での出場が決まり、昨年の9月から特訓が始まりました。一番時間を費やしたのは、「荒削り」「ネジ加工」「仕上げ削り」などの各工程の基礎を徹底的に繰り返す練習です。この練習で指先の感覚が研ぎ澄まされていき、次第に設計図どおりの作品ができるようになっていったのです。また、作業音が響き渡る本番を想定し、ラジオを大音量で流しながら作業に取り組みといったユニークな練習も行い、精神面も鍛えていきました。

大会当日、二人はベストを尽くすことだけを考えて競技に臨みました。その結果、匠さんは最優秀賞に。これは進修館高校にとっても、初めての快挙でした。匠さんは、うれしさのあまり涙が止まらなかったそうです。その姿を見た賢さんも「自分が入賞を逃しましたが、匠が最優秀賞を獲ったことが自分のことのようにうれしかった」と振り返ります。

大会を終えた二人に今後の目標を尋ねると、匠さんは「さまざまな工作機械を自在に扱える技術者になりたい」、賢さんは「旋盤のスペシャリストになりたい」と語ってくれました。それぞれが描く理想の姿に向かって、身近なライバルでもある二人は、「ものづくり」の分野で刺激し合いながらこれからも成長し続けます。

私の作品

◎皆さんの作品を募集しています。俳句は毎月5日までに、はがき・封書で広報広聴課へ応募ください。

- 俳句
  - 荒木 藤田 栄之
  - 山間の日暮れをさそふ月見草
  - 富士見町 鈴木スイ子
  - 十葉を侍らせ辻の道祖神
  - 忍 丸山 連子
  - 万緑に染まりて戻したき齡
  - 藤間 大上美知子
  - 紅さして夜明待ちをり古代蓮
  - 城南 橋本千枝子
  - 梅雨晴間秩父連山はるかにす
  - 矢場 鈴木かづの
  - 我慢して夫の愚痴聞く梅雨月夜
  - 佐間 須永 節子
  - 新茶汲む夫の湯のみも替えてみし
  - 谷郷 大谷 峯生
  - 精進の酢漬けの茗荷紅ほのか
  - 中里 鯨 美智子
  - 下駄箱の上で金魚の会釈かな
  - 荒木 藤田 明枝
  - 虫干しの着物に母の香を偲ぶ
- 父の日に緑酒で一人古稀祝ふ
  - 棚田町 春田 枕流
  - 荒木 高澤よね子
  - 挽きたての糠漬胡瓜朝の膳
  - 向町 渡月 峯
  - あまだれに腰を打たせる雨蛙
  - 城南 町田 達男
  - 極楽をのぞいて見たし蓮の池
  - 持田 小倉 繁三
  - 梅雨空に会話がはづむ遊山バス
  - 天満 青柳 欣吾
  - 柏餅米寿祝いのお土産に
  - 向町 小沼 重蔵
  - 梅雨晴れや拳式の孫の幸祈る
  - 棚田町 財津ミチエ
  - 住む町の活き活きライフ青田風
  - 裏路地の朝顔市の江戸風情
  - 門井町 嶋田 茂
  - 友逝きて妻の哀しみ黒南風
  - 持田 荻原 義久
  - (三沢 一水 監修)

平成26年10月生まれのお子さんを募集します

○8月3日月～31日間に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。 ○応募者多数の場合は、9月2日(休)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



★★★平成26年8月生まれのおともだち★★★



松本 梨央ちゃん(女) 平成26年8月13日生まれ 父・たけおさん 母・麻里子さん 元気いっっぱい おてんば娘☆



大熊 颯月ちゃん(男) 平成26年8月4日生まれ 父・悟さん 母・園子さん 健康ですくすく 大きくなってね♡



松村 依南ちゃん(女) 平成26年8月8日生まれ 父・恵之さん 母・真里菜さん 毎日幸せをありがとう♡



諏佐 朔杜ちゃん(男) 平成26年8月29日生まれ 父・一樹さん 母・睦美さん 笑顔いっぱい 楽しい人生を♡



箕谷 和花ちゃん(女) 平成26年8月1日生まれ 父・悠太さん 母・千草さん 元気にすくすく育ててね!



吉田 拓生ちゃん(男) 平成26年8月29日生まれ 父・多喜夫さん 母・朋子さん 元気なひろき 大好き!

ぎょうだの会社を クローズアップ!!

大洋香料株式会社

香りと発酵素材で魅力ある商品づくりをサポート



会社プロフィール

代表取締役 竹内 健 【事業内容】 香料・発酵素材の提供 【住所】 藤原町1-7-1

最近、香り付きの柔軟剤や味や香りが加えられたウォーター系飲料が市場をにぎわしており、消費者の香りへの関心は高まっています。今月は、香りを通じてより豊かな生活の創造を目指している大洋香料をご紹介します。

社では扱っていない乳酸菌や乳酸菌飲料原液、フルーツソースを開発することができるようになりました。私たちのような香料会社が発酵素材を扱うこと自体、珍しいことなんです。これにより食品に香りと味、両方の付加価値を付けることができるようになりました。そこが当社の大きな強みですね」と工場長の町田伸夫さんは言葉に自信をのぞかせます。これまで培ってきた技術で作り出した原料を単にメーカーに納めるだけでなく、使用方法も含めて提案することで各企業の新商品開発に貢献しているのです。

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。 特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課広報広聴担当(内線318)までお寄せください。